

ニュースレター No.80

会長挨拶

一般社団法人 福岡県助産師会 会長 佐藤 香代

暑い夏が過ぎ、爽やかな過ごしやすい日々が訪れるかと思いきや、いきなり冬に突入のような寒さに。なんだか秋があったという間に過ぎ去った感があります。

10 月末、学生との Web ゼミを終え研究室で原稿を書いていると、20 時、突然目の前の海岸から花火が上がりました。えっ、百道浜花火大会、復活したの??でもそんな情報なかったし。。。とりあえず部屋の電気を消して 15 分ほどの花火鑑賞をしました。夜空の百花繚乱を独り占めしてうっとり。何だか得した気分です。日本の花火は最高ですね。あれはプライベート花火だったのでしょうか?それにしてもクオリティが高かった。。。秋の終わり、誰からかわからないけど、サプライズのプレゼントをいただきました。

さて、コロナの収束もウクライナ情勢もまだまだ先が見えないなか、歴史的な円安が続いています。給料は増えず度重なる物価上昇で、庶民の生活は苦しくなる一方です。そのような折、日本助産師会や看護連盟等関連団体は「訪問看護ステーション、助産所等における物価高騰への支援」に関する要望書を 2022 年 7 月に国に提出しました。その結果、「電力、ガス、食料品等価格高騰重点支援地方交付金」が創設となり、福岡県も「医療機関等物価高騰対策支援金」の給付を決め、11 月 1 日より申請受付が始まります。助産所は 5 万円の給付となります。このように国への働きかけが重要なことがわかります。

しかし一方では、少子化に歯止めがかからず超高齢化社会を迎え、国がこの先どのような未来図を描いているのかわからなくなります。上記のような状況下で、女性は子どもを産みたい、子育てが楽しいと思うのでしょうか?

フィンランドでは、妊娠初期から就学前（7 歳前）まで一貫した公的サポートが受けられます。しかも問題のあるなしに関わらず全員が対象で、同じ支援者が個別に対応します。妊娠・出産・子育てを個々の親や家族だけに委ねず専門家が丁寧に関わり、対話とネットワークで支える支援の仕組みです。そこには、ネウボラ(Neuvola)があります。ワンストップサービスで間口が広く、敷居は低く、信頼でき安心して専門家に相談できる場所の存在です。ネウボラとは「制度」であり、「地域拠点」、「地域の実家」を意味します。日本でのネウボラは、まさに助産所だと言えるでしょう。

フィンランドでは、このようなサポートシステムによって、子育て家族の約 7 割は高次の支援を必要としないと言われています。乳幼児への手厚いケアを社会をあげて支援することが、節税のための一番生産的な方法と考えられているのです。ノーベル経済学賞を受賞した J. ヘックマンも、公的投資の収益率が最も高いのは妊娠期から乳幼児期であると述べています。一方日本では、児童虐待によって生じる社会的な経費や損失は、2012 年度、少なくとも 1 兆 6000 億円にのぼると報告されています (Wada *et al*, 2014)。

WHO は受胎からの 1000 日は人の成長にとって最も重要な時期だと述べています。妊娠期



からの丁寧な子育て支援は、人や国造りの根幹となる施策です。すなわち、社会・地域・国の生き残り戦略であると言えるでしょう。

妊娠・出産包括支援制度がすべての妊産褥婦に満遍なくいきわたるように、すべての女性と家族が、いつでもどこにいても助産師のケアを受けることができるように、福岡県助産師会の歩みは決して止めてはいけないと思います。

表彰

受賞された皆様、おめでとうございます！

【優良助産師 厚生労働大臣表彰】

佐藤 香代 氏

【福岡県母子保健家族計画事業功労者表彰】

野中 清子 氏

災害対策委員会 活動報告

災害対策委員会 委員長 木下広江

7月の理事会時に避難訓練を行いました。助産師会館で新理事会メンバーが集まり、助産師会館の見取り図から消火器の場所や避難経路確認し、通報、初期消火、避難誘導、水消火器を使った消火訓練を実施しました。実際に火災に遭遇することは稀ですが、突然の災害に備えて日ごろからの訓練や準備が必要だと感じます。

近年、頻繁に豪雨や台風、地震などの大規模災害が多発しています。先日の台風14号では、安否確認のご協力ありがとうございました。今後も、会員の皆様の安全と各地域の被害状況を確認する方法の簡略化や、災害時にはボランティアとして活動できるような仕組みづくりを整えます。安否確認訓練や、福岡県助産師会主催の災害対策研修会も計画中です。

助産師会では今年度より、災害対策委員を10名に増員し、ホームページを活用した災害時マニュアルや県内の災害支援体制の充実を図ります。県内の地区ごとに起こりやすい災害も様々ですが、連携しながら地域の母子保健活動がスムーズに行えるようにネットワークを構築していきましょう。会員の皆様のご協力を、よろしくお願いいたします。

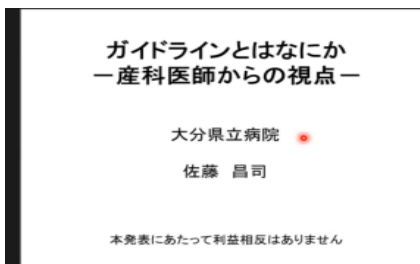


安全対策委員会 三部会報告 「三部会合同研修会」

安全対策委員会 委員長 助産所部会長 田嶋昌枝

令和4年7月30日、福岡県助産師会館にて、産婦人科医であり、大分県立病院院長でもある佐藤昌司先生を講師にお迎えして研修会を開催致しました。テーマは「ガイドラインとはなにか～産科医師の視点～」でした。

『産婦人科診療ガイドラインは診療する上で適切な判断や決断が下されるように医師を支援する目的で体系的に作成された文章である。ガイドラインは法的な拘束力はないが、従うべき「標準的医療」、「安全性の契約」である。』など興味深いお話でした。私達助産師の「助産業務ガイドライン」も同じであり、ガイドラインは【道しるべ】になると言えるのではないのでしょうか。改めて妊産婦の安全を守ることが助産師の責任であると痛感しました。



組織強化委員会 活動報告

組織強化委員会 委員長 江島峰子

10月に「国際助産師の日」企画として、TNCに産後ケアの取材をしていただきました。佐藤会長へのインタビューとiibashoの石橋美幸さんによる産後ケアの実際が夕方の情報番組「記者のチカラ」内で放映されます。助産師会が進めている産後ケア委託事業を、広く県民の皆様にご存知いただく機会になるのではと期待しております。



今年度は勤務助産師部会の方々に「会員満足度調査」を行います。会員数が一番多い勤務助産師の方々のニーズを知り、ニーズに沿った活動を行うことで、今後の会員増加につながるのではと考えています。目下アンケート内容の検討中です。準備が整い次第、グーグルフォームが送られますので、勤務助産師部会の方々はご協力をお願いします。

また、昨年度作成した会員勧誘のための媒体「5分で分かる福岡県助産師会」パワーポイント動画を活用し、助産師学生の皆さんに助産師会について知ってもらおう活動も行っています。組織強化委員が学校訪問を行うことも計画しています。学校関係の会員の方々のご協力をお願いします。

令和5年度 産後ケア事業に向けて

妊娠・出産包括支援委員会 委員長 豊田晴子

「令和5年度産後ケア事業に向けて」随分気の早いテーマなのですが、委員会としましては、本年6月より、来年度産後ケア事業に向けて各市町村との話し合いを進めています。現在11市町村との契約を交わしていますが、来年度にむけ8市町村と話し合いを進めているところです。

福岡県助産師会では、ご実家でも産後ケアが受けられる。

必要な時に必要なケアがうけられてこそ、産後うつや虐待防止に繋がるケアになり、その他の疾患でも早期に発見することが出来る。

『孤育て』による色々な弊害を早期に発見・対処してこそ子どもの将来を大きく左右する成果が得られる事業ではないかと思えます。今後も多くの市町村と共に協力し合いながら産後ケア活動に従事していきます。今後ともご協力のほど宜しくお願い致します。

福岡市マタニティスクール 報告

福岡地区理事 福澤雪子

令和4年度の福岡市委託事業「働くママとパパのマタニティスクール」の報告をさせていただきます。

COVID-19感染者数は高止まりが続き、第8波が懸念されるこの頃ですが、マタニティスクールは令和4年度も1日4組と参加者を限定し、感染予防に務めながら、対面での実施を継続しています。

執務にあたる助産師は3名で、少人数ならではの丁寧な指導を行っております。参加者は実際に沐浴を体験し、赤ちゃんのいる生活について助産師の話を聞くことで、具体的なイメージをつかむことができ、出産・育児に向けての意識が高まったとのご意見が多数寄せられています。感染の終息が未だ見通せない中、本マタニティスクールは対面で受講できる貴重な学習の場であり高評、価をいただいております。

福岡市マタニティスクールでは、執務者（助産師）を募集しています。福岡地区だけでなく、会員であればどなたでもご参加いただけます。毎月第3土日、準備・片付け込みで11:20～16:30の執

務となります。まずは見学からでも可能ですので、興味のある方は福岡地区理事までご連絡ください。



テレビ放映「福岡県助産師会の産後ケアの取り組み」

組織強化委員会 委員長 江島峰子

11月3日「福岡県助産師会の産後ケアの取り組み」がTNCで放送されました

組織強化委員会では助産師および助産師会の認知度が向上することを目的とした発信活動を毎年行っています。今年は「産後ケア委託事業の拡大：県内どこにいても受けられる体制へ」というテーマで地元テレビ局に取材をしてもらうことを企画しました。

9月に佐藤会長を通してTNC（テレビ西日本）へ企画書を提出しました。取材の目的は以下の通りです。

「福岡県助産師会と委託契約を結ぶ市町村の増加で、産後、居住地以外に滞在していても、その近隣の助産所で産後ケアを受けることができる対象者が増えている。福岡県助産師会は、県内どこにいても、いつでも産後ケアが受けられる仕組みが大切だと考え、市町村に積極的に働きかけ、委託契約時にその体制を実現させてきた。これは全国的にも画期的な取り組みであり、高い評価を受けている。居住地でしかケアを受けられないと思っている母親たちへ、里帰りしても、どこにいても助産師のサポートを受ける機会があることを知ってもらうとともに、地域に根ざした助産師活動とその課題を伝える。」

10月上旬、夕方の情報番組「記者のチカラ」での放映が決定し、TNC記者と佐藤会長で詳細な打ち合わせが行われました。担当記者が妊娠中の方で、大きな関心を持って取材に取り組んでもらえました。10月下旬、iibasho（春日市）の石橋美幸助産師が行う産後ケアと佐藤会長へのインタビュー取材が行われました。

そしていよいよ、11月3日18時28分、放送が始まりました！佐藤会長へのインタビューでは、産後うつ、コロナ禍、一人で育児を担う母親をキーワードに産後ケアの必要性が語られました。また、産後うつはコロナ禍前の2倍に増加し、4人に一人が経験しているという報告もなされました。

産後ケアの実際では、石橋助産師が福岡市の母親の自宅を訪問し、沐浴や授乳サポートを行う場面が紹介され、母親からは「引っ越してきたばかりで、周りに頼れる人がいないので、訪問サービスはありがたい」との言葉が聞かれました。また、iibashoでケアを受ける夫婦が「石橋さんの包み込んでくれるようなケアで救われた」と涙ぐみながら話される場面も紹介されました。

その後、福岡市のアウトリーチについて、従来自費で1万円程度かかっていた費用が、助産師会の委託事業が始まったことにより自己負担2000円で受けられることと、助産師会が、市町村との委託契約を結び、居住地以外でもケアを受けられるようにする取り組みを進めていることが説明されました。

最後に「からだところのサポートをしてくれる助産師の産後ケアは、よりいっそう注目されそうです」というキャスターの言葉で締めくくられました。

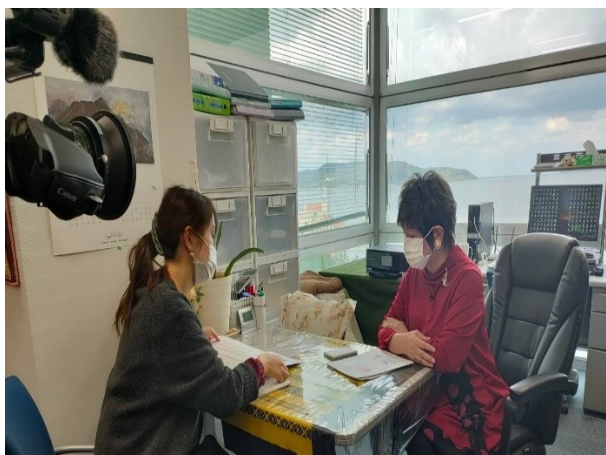
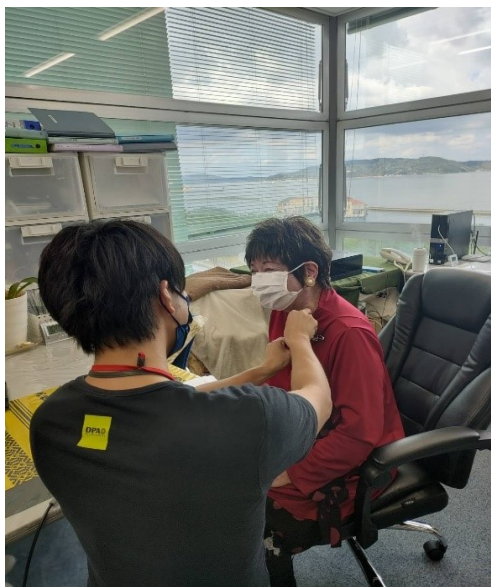
放送終了が18時41分、祝日の家族団らんの時間に13分もの時間を割いて放送していただき、感謝です。多くの皆様に、産後ケアの必要性が伝わったと思います。

視聴者からは「母親の涙を見てもらい泣きした」「私も産後ケアを受けてみたい！」「こんないいサ

一息があるなら、私もこの時代に子どもを産みたかった」「助産師さんって、すごい！」等々、たくさんの声が寄せられました。

助産師会の活動をもっと知っていただくために、組織強化委員会は、今後も活動していきます。

【取材シーンから】



【放映シーンから】





北九州地区活動紹介 講習会開催

高井佳世子

現在、北九州地区では 64 名の会員が活動しています。

開業乳房ケアだけでも桶谷式、堤式、BS ケア (50 音順) と多彩ですが、開業の方も、勤務の方も、助産院の方も仲が良く、互いに連絡を取り、必要なケアやサポートが親子に届けられるようにしっかり連携も取れています。当地域で良い関係が築けているのは、ほぼ毎月の定例会 (現在は zoom) でも、理事会と地区の報告だけでなく、産後ケアなどの情報交換、それぞれの近況報告など参加者全員から話が聞けるように理事から声かけがあり、互いに発言しやすい雰囲気となり、良い関係が築けているおかげだと思います。親子向けや助産師向けのイベントの開催も多くあり、助産師として成長していくのにも良い環境があると思います。

そんな北九州地区では、去る 8 月 27 日に藤牧経乗先生による頭蓋仙骨母子ケアの講座を zoom 開催いたしました。定員 60 名でしたが満員で、講座後アンケートでも満足、ほぼ満足の割合が 83.7%、仕事に役立つかについても高評価が 81.8% を占め、研修としては大成功でした。内容は、子育て支援者のための頭蓋仙骨母子ケアと称して、妊娠中、出産、産後にすぐそばで全期間通して関われる助産師だからこそ講座を受けて欲しいこと、中枢神経、脳幹部、硬膜の機能と役割や、お産及び母乳育児と赤ちゃんの骨格的メカニズムについて、その対処法、ぜひ伝えて欲しいことなど、盛りだくさんでした。母子に何が提供できるのか、真剣に取り組まれていらっしゃる方からの講座後アンケートも多く、こんなにも熱い想いの仲間がいることに感動いたしました。

藤牧経乗先生の頭蓋仙骨母子ケアは、アメリカでメディカルドクターと共に医療として認められている頭蓋仙骨療法を、産前産後の日本人の骨格に合わせた考え方や手技に進化させたものです。子供が順調に発達していけるように、過去ドーマン研究所にも所属され、現在も発達障害のある子供たちと接している先生だからこそ、民間の「なんとなく気持ちよかった。」で終わるケアではなく、出生直後からの過ごし方でその親子の人生が大きく変わるケアやアドバイスをなんとしても助産師に伝えたいと活動されています。

今後も、北九州地区で講習会を開催していただく予定です。

北九州地区にぜひご登録頂き、一緒に親子の幸せのために頑張っていきましょう。



令和4年度 研修会のお知らせ 動画配信スタート！

令和4年度の研修会はすべてオンデマンドとなっております。10月1日より動画配信がスタートしました。配信期間は2月28日までです。ぜひ自己研鑽にお役立てください。

研修会テーマ	内容	講師
(テーマ)○☆ 助産哲学	・ウィメンズヘルスケア提供のための基礎能力 ・助産師に関係するガイドライン	福岡県助産師会会長 佐藤香代
(テーマ)☆ 妊婦教育は全てのかなめ	・子育てに関する支援 ・ペアレンティング	福岡県助産師会会長 佐藤香代
(テーマ)☆ お産のわざと産後の経過	・産後の母親のフィジカルアセスメント 妊娠分娩の身体的経過やフィジカルアセスメント、起こりやすいマイナートラブルなど	助産院mamita 院長 田中みちえ
(テーマ)○ 勤務助産師のレジェンドから学ぶ	・WHC 若年の母親への助産ケア	福岡県助産師会 会計 北九州市立医療センター 山口美津枝
(テーマ)☆ 中医学からみた母乳育児支援	・母乳育児支援	中国医学協会会長 今中健二
(テーマ)☆ 女性のメンタルヘルス	・周産期のメンタルヘルスに関する基本的知識 ・産後うつ予防・早期発見について	なかなみメンタルクリニック 院長 中並朋晶（医師）
(テーマ)☆ 歯科医から見た赤ちゃんのお口と健康	・乳児のフィジカルアセスメント	みやのじん歯科クリニック 副院長 本田祐佳（歯科医師）
(テーマ)☆ 乳児の成長・発達と運動能力	・乳児の成長・発達に関する診断と技術	療育医療センター 若楠療育園 渡部雄一（理学療法士）

○選択研修 ☆産後ケア実務助産師

《対象者》助産師（福岡県内外 会員・非会員）、看護職、学生

《開催方法》全てオンデマンド

《時間》2時間（120分）

《配信期間》2022年10月1日（土）～2023年2月28日（火）

《参加費》助産師会会員 2,000円 非会員 5,000円 学生 1,000円（助産師免許保持者は除く）

《申込み期間》2022年9月1日（木）～2023年1月31日（火）

※詳細については、福岡県助産師会ホームページ「研修イベント情報」をご覧ください。

水と、空気と、睡眠と。

TUK 東洋羽毛

Lumone よく眠った人には、かなわない。
ルモネ

世界に誇れる羽毛ブランド
HARUO DOWN

いい羽毛からしか、
いい羽毛ふとんは生まれない。

GOOD DESIGN
HARUO DOWN

無料 睡眠セミナー

東洋羽毛では「睡眠健康指導士」の資格を有した社員が講師を務める充実したセミナーをご用意しています。
正しい情報を得て睡眠習慣を見直し、イキイキと健康的な毎日を過ごすお手伝いをさせていただきます。

今よりもぐっすり、幸せな毎日のためのヒントがきっと得られるはずです //

睡眠セミナー講師を無料で派遣いたします

<お役に立てる主な研修>

- ★ 医療安全対策研修 睡眠不足とヒューマンエラーの関係や、交通事故における睡眠のコツなど
- ★ メンタルヘルス研修 労働者におけるストレスと睡眠の関係
- ★ 学校保健委員会 「学力」や「部活動」、「スマホ・ゲーム」と睡眠の関係
- ★ 高齢者の睡眠ケア 高齢者の睡眠マネジメントや、これだけは知ってほしい生活習慣

※オンラインセミナーも承ります。
※他、施設内研修などご相談承ります。(事前にお打ち合わせをお願いいたします。)
※(一社)日本睡眠教育機構認定の睡眠資格制度です。

東洋羽毛九州販売株式会社 福岡営業所
〒812-0062 福岡県福岡市東区松島1-15-28 ☎0120-104-557

ママと赤ちゃんのコンビニエンス

●● 産科用品の自動販売機 ●●

院内サービスショップとして
24時間いつでも利用いただけます。

GLORY
元形販売機 AE-20V

- 1台で90品目販売、豊富な品揃えができます。
- 販売価格は5,000円まで。もちろん、千円紙幣も使えます。
- 売上集計もワンタッチで。ジャーナル印字も行えます。

陳列コラムを
回転させながら
商品が
選べます

↓

投入金額以内の
陳列コラムの扉を
1つだけ開けて商品
を取り出せます

外形寸法: (W×D×H)
800×685×1830mm・重量150kg

企画・発売元
SEBE セベ産科用品株式会社
〒812-0016 福岡市博多区博多駅前4丁目11-11 TEL (092) 472-4316

産褥社 (胎盤処理)

〒811-1313
福岡県福岡市南区日佐3丁目
34-16

TEL : 092-581-6588

代表 : 村上 士朗



ホームページ会員登録のお願い

福岡県助産師会の会員の皆様で会員登録がまだお済みでない方におかれましては、会員登録をお願いいたします。

手順は、福岡県助産師会 HP⇒助産師の方へ⇒会員登録について⇒会員登録フォームに必須事項入力となります。これまで、日本助産師会事務局から福岡県助産師会会員の皆様への情報提供手段として、地区理事や各部会長を通して伝達しておりましたが、9月より福岡県助産師会ホームページ内「会員ページ」に掲載することになりました。会員ページにログインされますと、観覧制限しているページを見ることができます。

会員募集

一般社団法人 福岡県助産師会では、会員を募集しております！！

ご友人や職場の方をお誘いし、一緒に活動してみませんか？

入会をご希望される方は、下記 QR コードより福岡県助産師会ホームページにアクセスし、助産師の方へ⇒入会案内のページにお入りください。または、下記担当者への連絡をお願いいたします。



【福岡県助産師会 会計 山口美津枝】

住所：〒807-1134

北九州市八幡西区茶屋の原 4 丁目 1-12

電話：090-9607-3331

メールアドレス：3enyanko@gmail.com

おひとりでも多くの皆様の入会を心よりお待ちしております。



【編集後記】

今年度 2 回目のニュースレターをお届けします。会員の皆様の活動を発信できるツールになればと思っております。本格的な寒さに向かう時節となりました。皆様、くれぐれもご自愛ください。

広報・渉外委員 後藤・村尾・安河内・原武・阿部

一般社団法人 福岡県助産師会 ニュースレター 第 80 号 2022 年 11 月
発行人 一般社団法人 福岡県助産師会 会長 佐藤 香代

〒810-0014 福岡県福岡市中央区平尾 1-3-41

電話・FAX 092-521-2025 <http://www.fukuokajyosanshi.com>

